

2008年4月6日

地域面（都民14判）

お隣は

学生さん

大東文化大（板橋区）の学生が地元・高島平の活性化を図る「高島平再生プロジェクト」。4年前から続く同プロジェクトの新しい試みとして、16人の学生が新年度に合わせて高島平団地に居を構えた。

高島平団地はかつて「マンモス団地」と呼ばれ、子育て世代を中心に活気にあふれていた。しかし、今や居住者の高齢化が進み、空き室も現れ始めた。

その空き室を大学がまとめて借り上げ、留学生や地

方出身の学生に安く貸した。代わりに学生は、ボランティア活動などで地域社会に積極貢献する。3月末に越してきた中國内モンゴル自治区の留学生、ガ・ルディさん（34）は「環境に関することなど、ディさん（34）は「環境に関することなど、自分が学んできたことを地域のために役立てたい」と意気込む。

日本人学生と共同で団地に住み込んだ同自治区の留学生パオ・ジリガラトさん（23）も「部屋探しの苦労が省けるし、日本と交流できる機会がたくさん持てる」と喜ぶ。

団地住民らで作る「高島平地区小地域ネットワー

ク」代表の堀口吉四季さん（58）は「留学生や若者が身近に住むと、新たな交流が生まれる。地域の雰囲気も明るくなる」と喜んでいる。来月には、団地内の「さくら通り商店街」の空き店舗を利用して同プロジェクトを実施する予定。高島平は元気になる」と話している。

ホツ人 東京 08 ふれいゆ

2008

2008

「コミュニティ

カフェ」がオ

ブンし、住民と

学生との交流の

場になる予定。

同プロジェクト

を推進する山本

幸則・環境創造

学部教授は「地

域と大学が連携

して、「多世代共住」と「多

文化共生」が実現できれば、

高島平は元気になる」と話

(写真と文・伊藤紘二)